

ギカイの窓

2018年(平成30年)5月1日 No.52

特集 無形文化財の伝承者 × 市議会

トピックス

平成30年3月定例会

平成30年度当初予算を可決

市政を問います！代表質問・一般質問

聞かせてあなたの夢

表紙

あおよぎ

撮影 石田 諒さん

場所 市民交流ひろば

無形文化財の 伝承者 × 市議会

佐久市内各地で、数百年の歴史を誇る無形民俗文化財が伝えられています。

それらの伝統芸能や神事を受け継ぎ、次世代へ伝えていこうと奮闘されている保存会などの皆さんに、取り組みの工夫や苦勞、地域の伝統に対する思いなどをうかがいました。

跡部の踊り念仏、湯原神社式三番、上原鳥追い祭り、岩村田祇園におけるお船様祭り、榊祭りの伝承者の方々にご参加いただきました。



歴史を誇る無形文化財の素晴らしさを知っていただき
多くの方に伝統行事に参加をしていただきたい!!

部の踊り念仏

・演者を探すのが年々大変になり、

昔は20歳前後の男性だけでしたが年齢制限を緩くしています。通常は数年で交代するのに、10年続けてくれている人もいます。

(湯原神社式三番)

・道路整備の影響で担い手が引つ

越してしまうなど、苦勞もありますが、ボランティアを頼むなどして何とかやっています。(岩

村田祇園におけるお船様祭り)

・当日は大勢のカメラマンが来るため、演じる向きを考え、浅間山をバックに撮影できるようにするなど工夫しています。(上原鳥

です。

一時は伝承者のみでやっていまし

たが、区の役員が準備に携わったり、PTAに片付けの手伝いをしてもらったりと、地域ぐるみで支えています。記録を残すため、平成25年に冊子、今年度はDVDを制作しています。(跡

―伝統を守っていくための工夫や
苦勞は?―

・担い手のすそ野を広げようと、平成22年から、夏休みに子どもと一緒に踊ってもらう会を開いています。そこに参加した女の子が昨年、高校生になって本公演で踊ってくれたのがうれしかった



二つの式三番

跡部の踊り念仏

追い祭り)

- ・中心メンバーは3か月以上毎日準備作業を行い、当日も夜明け前からみこしを作ります。段取り良く準備するため、OBにアドバイスを受けながら作業するようにしています。人集めが難しくなってきたので、本来のエリアより地域を広げたり友人に声をかけるなどして、人数を確保しています。(桝祭り)
- 行政に望むことは?—
- ・せつかくの伝統行事をもっと大勢の方に見てもらいたい。そのためのPR面で、市にも協力をお

願っています。(共通)

- ・年季が入ってきた衣装の新調など、費用面で支援がほしいです。(跡部の踊り念仏)
- 今後の活動に向けた思いを聞かせてください—

- ・700年以上の伝統を守る使命を感じながら取り組んでいます。(跡部の踊り念仏)
- ・派手なお祭りで、一般からの「参加したい」という声も多い。古いしきたりだけではうまくいかない部分もあるので、みんなと相談しながらやっていこうと思います。(岩村田祇園におけるお船様祭り)

- ・自分も役者として参加したり、OBとして「師匠」を務めたりしながら伝統を守っていききたいです。(湯原神社式三番)
- ・古文書もほとんどない中、約50年前に今の形ができたと言われています。その形を継続していければと思います。(上原鳥追い祭り)

- ・珍しい形の神輿を全国の人に知ってもらえるよう、しっかりと受け継いでいきたいです。(桝祭り)

平成30年 3月定例会

平成30年3月定例会を2月22日から3月22日までの29日間の会期で開き、条例改正や平成30年度当初予算など52件、諮問案1件を可決及び同意しました。

平成30年佐久市議会 3月定例会 議案審議結果

議案番号	議 案 名	審議結果	議案番号	議 案 名	審議結果
1	佐久市組織条例の一部を改正する条例の制定について	◎	25	市道の路線変更について	◎
2	佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	26	平成29年度総合交付金総合運動公園整備事業野球場建設（駐車場）工事請負契約について	◎
3	佐久市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	◎	27	平成29年度佐久市一般会計補正予算（第9号）について	◎
4	佐久市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	◎	28	平成29年度佐久市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	◎
5	佐久市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎	29	平成29年度佐久市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	◎
6	佐久市税条例の一部を改正する条例の制定について	◎	30	平成29年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計補正予算（第1号）について	◎
7	佐久市積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	◎	31	平成29年度佐久市特別養護老人ホーム特別会計補正予算（第1号）について	◎
8	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	◎	32	平成29年度佐久市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	◎
9	佐久市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎	33	平成29年度佐久市介護老人保健施設特別会計補正予算（第1号）について	◎
10	佐久市障害福祉サービス事業施設条例及び佐久市障害者支援施設臼田学園条例の一部を改正する条例の制定について	◎	34	平成29年度佐久市奨学資金特別会計補正予算（第1号）について	◎
11	佐久市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	◎	35	平成29年度佐久市環境エネルギー事業特別会計補正予算（第2号）について	◎
12	佐久市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	◎	36	平成29年度佐久市茂田井財産区特別会計補正予算（第1号）について	◎
13	佐久市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	◎	37	平成29年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計補正予算（第1号）について	◎
14	地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	◎	38	平成29年度佐久市下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	◎
15	佐久市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	◎	39	平成30年度佐久市一般会計予算について	○
16	佐久市農業振興協議会条例の一部を改正する条例の制定について	◎	40	平成30年度佐久市国民健康保険特別会計予算について	◎
17	佐久市土地改良事業等分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	◎	41	平成30年度佐久市介護保険特別会計予算について	◎
18	佐久市特定用途制限地域における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎	42	平成30年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計予算について	◎
19	佐久市公園条例の一部を改正する条例の制定について	◎	43	平成30年度佐久市後期高齢者医療特別会計予算について	◎
20	佐久市宮住宅条例の一部を改正する条例の制定について	◎	44	平成30年度佐久市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	◎
21	佐久市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎	45	平成30年度佐久市奨学資金特別会計予算について	◎
22	佐久市介護老人保健施設条例を廃止する条例の制定について	◎	46	平成30年度佐久市環境エネルギー事業特別会計予算について	◎
23	川西保健衛生施設組合規約の変更について	◎	47	平成30年度佐久市茂田井財産区特別会計予算について	◎
24	市道の路線認定について	◎	48	平成30年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計予算について	◎
			49	平成30年度佐久市下水道事業特別会計予算について	◎
			50	教育長の任命について	◎
			51	教育委員会委員の任命について	◎
			52	佐久市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	◎
			諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	◎

【結果の表示】 ◎全会一致で可決・同意 ○賛成多数で可決・同意

平成30年佐久市議会 3月定例会 賛否一覧

議案等番号 議案等略名	会派名 議員名														議決結果
	中條 壽一	市川 稔宣	市川 将	小林 貴幸	神津 正	大井 岳夫	関本 功	柳澤 潔	吉川 友子	土屋 俊重	大塚 雄一	清水 秀三郎	吉岡 徹	三石 義文	
議案第2号 佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号 平成30年度佐久市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※「○」は賛成 「■」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席 議長（高橋良衛）は採決に加わりません。

※これ以外の案件等は、全会一致でした。

平成30年佐久市議会 3月定例会 陳情・請願の結果一覧

番 号	陳情者	陳情要旨	結 果
平成29年 陳 情 第9号	佐久市協和 4194 大谷地区自治会 会長 岩 間 眞 二	太陽光発電施設建設に関する陳情	取下議決

常 任 委 員 会 審 査 報 告

平成30年度当初予算案可決、市組織条例の一部を改正する条例案等可決

総務文教委員会 委員長 関 本 功

市組織条例の改正によって地域局及びみず苑の廃止、特別職の給与等並びに職員の給与等、職員の退職手当、政務活動費の交付、税条例、など8条例の改正について可決。補正予算案、当初予算案可決。

◆こんな質問が出ました

Q 組織機構見直しによって、地域局がなくなるが、サービスの低下にならないか。また、支所の機能や職員数、支所の特定課題の今後についてはどうなるか。

A

整備室は引継ぎが2課になるが、サービスの低下にならないようにしたい。支所の機能は現状を維持する。職員数については、今の規模と変わらないようにする。特定課題は総務部長と支所長とで共通認識を持ち、しっかりと協議する。



新臼田支所の現地調査

付託全議案を原案可決
望月土づくりセンター等現地調査

経済建設委員会 委員長 中 條 壽 一

・「農業振興協議会」組織体制見直し、充実へ。
・中部横断自動車道臼田IC周辺の工場団地予定地域が特定用途制限地域に。
・市内公園（全66か所）の年間管理委託料は総額2億2千9百万円余。

◆こんな審査内容でした

・農振除外の可否を協議する「農振協議会」はこれまで各地区で構成されてきたが、新年度より中学校単位で新たに組織され、委員も市長委嘱となる。
・公園管理委託料については総委託料の50%が「平尾山公園」一つに振り分けられているのは問題だ、との意見が出され挙手採決により、5対1の賛成多数で原案可決となった。



平成30年度当初予算関係
佐久市望月土づくりセンター現地調査

・バリアフリーのバスが配置されるが、車椅子が利用できない停留所もある。改善が急務だ等の意見が出された。

平成29年度補正を含む予算案15件、条例案8件の計23件の議案を審査

社会委員会 委員長 三 石 義 文

平成30年度予算案には子ども福祉医療費給付金や健康長寿ブランド化推進、療育支援事業、また生活困窮世帯への学習支援事業他新規事業を含む等、様々な市民福祉関係予算を審査

◆こんな意見がありました

・学習支援事業について、退職された先生が学習面だけを見るのではなく、地域の大学と提携し若い学生が相談に乗るなどの支援も検討されたい。
・子ども未来館のリニューアルされたプラネタリウムは、県下初の放映機でもあるので、子どもに限らず一般の方も楽しめるイベント等も検討いただきたい。

人権同和对策事

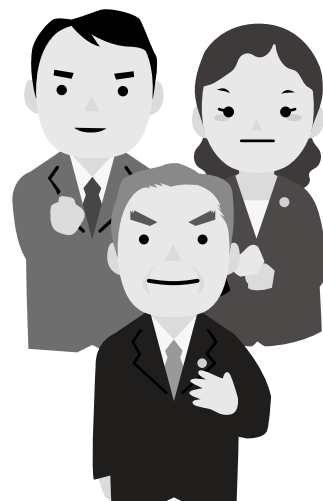
業費中の補助金の金額について反対の意見があり、挙手による採決の結果、原案に賛成6、反対1で原案可決と決した。



800万個の星で「天の川」を表現できます

4 会派が市政を問います

代 表 質 問



- 代表質問の紙面は、議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



動画配信 QRコード

ひとくち
メモ

代表質問とは

当該議会に所属する会（党）派を代表して行う質問のことをいう。
当初予算が審議される予算議会のように質問者が多い場合、会期日数との関係から、特定の議員が会派又は政党を代表して、長が執行する一般事務のうち各行政部門ごとに質問事項をまとめ、これについて質問することをいう。
佐久市議会では、通常3月議会に代表質問を行うが、議員改選の年は6月議会に行っている。

A

現在の世代だけではなく、将来の世代においても、暮らしやすさ、住みやすさ、働きやすさ、

Q

第二次総合計画で目指す将来都市像「快適健康都市 佐久」の実現に向けた7つの施策とまちづくりの方向性について。

針と市政運営について。
佐久市は高速交通網の結節点、医療・福祉の充実、天災の少なさなどの魅力、卓越性により、全国的にも数少ない将来性のある都市であると思う。今後も、先人の皆様により築かれ、受け継がれてきたまちの良さや、ま

A

市長就任10年目となる施政方針と市政運営について。
佐久市は高速交通網の結節点、医療・福祉の充実、天災の少な

Q

「快適健康都市 佐久」の実現に向けたまちづくりの方向性について

新政ネット

A

予算編成にあたっては、これまで取り組んできた地域の均衡ある発展はもとより、佐久市の強みを生かした特徴ある発展へ繋げていくことに留意した。雇用の安定や生活の利便性を向上させ、質を高めていくとともに、「若い世代の希望を叶え、選ばれるまち」を目指していくことが大切であると考えている。持続的発展と自主財源の確保に繋がる「未来への投資」を含め、様々な特徴ある事業を盛り込んだ。

Q

そして幸せが実感できるとともに、持続的に発展できるまちづくりを、総合的かつ計画的に進めてまいりたい。

質問者



こばやし
小林



たかゆき
貴幸

こうづ
神津

Q

地域活性化と企業連携による、ものづくり支援事業補助金の効果について。

A

新商品の製品化、若しくは新技術の実用化に結びついている。企業間連携の促進による開発に寄与し、大きな成果を出しているところでもあるので、今後も多く企業に活用していただき、新製品及び新技術の開発に繋がてまいりたい。

Q

滞納となった市税や料金など公金徴収の一元化について。

A

いくつかの課題があることから、ただちに一元化することは難しい。

Q

中部横断自動車道の早期の全線整備について。

A

これまで関係団体と連携し、中央省庁への要望活動など建設促進活動を展開してきた。今後も、早期全線開通に向けて取り組んでまいりたい。

Q

佐久平駅南土地地区画整理事業の市としての位置付けと、今後のスケジュールについて。

A

市議会において事業推進に向けた陳情が採択されており、市では技術的援助申請に基づく支

援を行う中で、1月に農振除外

や必要な各種都市計画が決定と

なり、組合の設立総会が開催さ

れ、本格的に事業がスタートし

た。佐久市全域の発展に繋がる

事業と位置付けており「未来へ

の投資」と考えるものである。

市は主要道路や広場等の公共施

設整備を行う予定であり、組合

に対しては補助金や技術的援助

等の支援を引き続き行い、佐久

地域の活性化を牽引していくま

ちづくりとして、共に連携しな

がら事業を進めてまいりたい。

平成31年度から33年度の3力年

で道路築造や造成工事が行われ、

34年度には全ての事業が終了す

る予定となっている。

佐久平駅南土地地区画整理事業

に伴う佐久平駅や岩村田駅周辺

のまちづくりについて。

佐久市健康長寿まちづくり計

画の方向性も踏まえ、地元商店

街や商工団体によるまちづくり

のための検討・協議を支援しな

がら、中心市街地活性化基本計

画の策定に向けて取り組んでま

いりたい。

更なる交通量の増加が見込ま

れる、佐久平駅南の開発地区周

辺の幹線道路整備について。

中佐都バイパスの整備により、

歩道整備も行う下仁田浅科線の

交通量の緩和と、望月・浅科方

A

面とのアクセスの向上が図られ

る。相生大手線の整備により、

東地区方面からのアクセス向上

と、開発地区と岩村田市街地と

の一体性・連続性が確保される。

佐久平駅浅間口線の先線は、広

域的な道路となることから小諸

市とも共有を図り、ネット

トワークの構築が図られ

るよう道路整備に努

めてまいりたいと考えて

いる。

就労支援と雇用確保

施策の推進について。

新たに佐久市無料職

業紹介所（佐久市版ハ

ローワーク）を開設し、

佐久白田IC周辺工業

団地整備事業を進めて

いく。

浅間総合病院が目指

す市民病院像について。

「佐久医療圏における

基幹病院としての貢献」

を

を

を

を

を

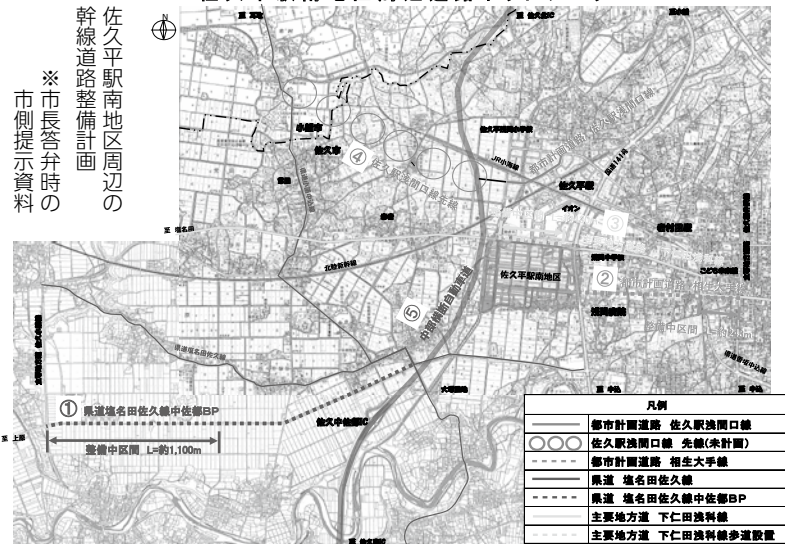
を

を

を

を

佐久平駅南地区周辺道路ネットワーク



◆その他の質問項目

「市立病院として果たすべき役割」の2つの視点の中で、市民の安心と幸福の追求に努めていく病院経営を達成していくことが、目指す市民病院像であると考えている。

- ・議員報酬と政務活動費について
- ・地方公共団体における内部統制について

・浅間総合病院玄関前のロータリー
の安全対策について

新緑会

地球温暖化対策への取り組みについて 社会のグローバル化に対する対応について

質問者



よしかた 吉岡 とおる 徹

◆温暖化対策について

Q 当市全体の年間CO₂排出量は直近でいくらか。傾向は。

A 平成26年度実績で66万6千トンであった。産業分野では減少傾向だが、家庭、運輸、業務分野では横ばい状況だ。

Q 当市のCO₂削減目標は。

A 第二次総合計画終了の平成39年度目標で48万8千トン、26年比26・7%減を目標としている。

Q 省エネやCO₂抑制に向けた市民の意識啓発はどのように考えているか。

A 現在小学4年の児童を対象に行っている「我が家のエコ課長」制度を一層推進していく。また長野市や安曇野市で取り組んでいる「環境家計簿」の活用を推奨し、各家庭での省エネ意識の醸成を図っていきたい。

Q 再生可能エネルギーの利用促進策と課題は。

A 人家の屋根への太陽光発電パネルの設置や、ペレットストーブ導入への補助制度は継続して実施していく。人家以外の場所への太陽光パネルの設置には近隣住民や景観への影響等で問題が生じやすいので、設置のガイドラインと設置要綱を早期に策定したい。

Q 排出されるCO₂を、森林を整備して樹木のCO₂吸収量をアップさせることによって埋め合わせ（オフセット）する事業が自治体を含め各地で活発になってきているが取り組み考えは。

A カーボン・オフセットの手法にはいくつかの種類があるので、他自治体の例も参考にしながら検討していきたい。

◆グローバル化への対応

Q 当市の外国人居住者の状況と増減傾向は。

A 住民登録している外国人は

1千133人で市民全体の1.1%。国籍は中国を筆頭にタイ、フィリピン等計34カ国に及ぶ。人数は年々徐々に増加している。

Q 小中学在校生の人数と日本語習熟状況は。

A 小学生37名、中学生11名が在学している。来日して日が浅く日本語に難のある子どもには、浅科小学校に日本語教室が用意されており、現在17名が各校から通っている。

Q 外国人と地域住民との交流や各種手続き等に不慣れな外国人への支援は。

A 交流機会は年7～8回開催される「国際交流サロン」および「国際交流フェスティバル」等があり、各国料理での交流やクリスマス会がある。また通院や児童手当申請、国保加入等の手続きのお手伝いをしていただくために「外国人支援推進員」をおいている。昨年は102件の利用があった。ボランティア団体「すずらの会」による日本語指導も毎土曜日に約40名が受講して行われている。

Q 海外からの当市への視察・研

修の受け入れ状況は。

A 28年度はタイ、台湾等8カ国から86名を、29年度は10カ国118名の視察・研修を受け入れてきた。

Q 今後は滞在型研修生の受け入れも検討すべきでは。

A 地域医療の歴史と実績を当市の強みとして世界に発信し、「保健・医療のつばさ事業」を発展的に推進していく中で考えていきたい。



国際交流フェスティバル in 佐久

公明党

健康寿命を延ばす取り組みについて エストニアとの国際交流について

質問者



わじま みこ
和嶋美和子

◆市の健康寿命の状況について

Q 介護など、人の助けを必要としないで暮らすことのできる健康寿命と平均寿命との間には開きがあるが、佐久市の健康寿命は何歳か。

A 直近のH28では男性が80・30歳、女性が85・54歳となっており、ここ3年、健康寿命は伸びている。

Q 高齢者の体重減少や筋力低下、気力の低下などのフレイル（虚弱）予防対策の現状は。

A 75歳、80歳への全戸訪問で、フレイルかつ骨格筋量の低下した状態の該当者が対象になり、保健師・理学療法士・管理栄養士・歯科衛生士が交代で訪問し、要介護状態への移行を防ぐ取り組みを行っている。

Q ◆エストニア共和国のホストタウン交流事業の現状は

独立100周年を記念して佐久



2月24日からのエストニアウィークで開催された「エストニア祭」

日本共産党

少子化が著しい佐久市の未来を変えるために・県立武道館について

質問者



ないとう ゆうこ
内藤 祐子

◆若者が働く場の確保について

Q とりわけ中小企業対策について

A 生産年齢人口（15歳～64歳）が合併時から5千人以上激減。市内の企業は従業員一人～四人の所が六割で事業所数も激減。人材不足、人材確保が課題。例えば「小規模工事契約希望者登録制度」等、中小企業支援策が必要なのではないか。

Q 状況は承知している。佐久市版ハローワーク設置や、移住交流推進課設置等、対応していく。

◆県立武道館計画内容について

A 県の入札が始まっているが、無償貸与する面積は。

Q

A 市の整備する多目的広場等を含め3万4千500㎡。

Q

A 創錬の森整備事業（既に建設の創錬センター）の土地取得時の合併特例債16億6千900万円の返済は始まっているか。

Q

A 始まっている。残10億4千600

万円はH31年度完済予定。

Q

A 高さ24・5mは何階建相当か。

Q

A 7階建ビル相当。東側民家は、冬至で約1時間の日陰。

Q

A 周辺整備の中で、西側道路は、H25年に合併特例債で整備済みだが、そこを更に拡張するとの事。前回整備でいくらかかったのか。

Q

A 用水路の整備や、その他の道路整備も含め、約4億円。

Q

A 地元だけでなく、広く、市民説明会開催の予定は。

Q

A 県との協議がまとまった段階で、市民説明会も実施する。



県立武道館 周辺図・配置図
(長野県建設部より)

14名の議員が市政を問います

一般質問



- 一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



動画配信 QRコード

一般質問とは

議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め又は疑問をただすことをいう。

ひとくち
メモ

A

当該地は農振農用地で優良農地であるが、第2次国土計画佐久市計画で産業振興のための土地利用として指定。しかし農業振興を図っていく地域に変わりはないので、農業の効率化、付加価値化等農業の推進を図って

Q

白田IC周辺工業団地整備で耕作者への農業を続けるための対応策は

A

のテントなど修理を進めていく。宿泊棟や管理棟、グラウンドなどは利用者や、競技団体、関係者などのご意見を聞きながら計画的に進めていく。

Q

白田総合運動公園はグラウンドや宿泊棟など老朽化により、不具合が多くあるが、整備予定は。グラウンドの芝、テニスコートの

A

日常的に必要とする各種窓口相談業務など行政サービス機能を維持していく。

Q

新支所の整備後業務内容に変更はあるのか。

白田支所整備と白田運動公園・白田IC周辺工業団地整備について



中部横断自動車道佐久白田IC周辺

◆その他の質問

・災害対策について

A

画面の策が求められているので、市内企業設備投資への補助金や佐久市版ハローワークを開設し佐久市で就職を希望する人と市内企業のマッチングをし雇用に繋げていく予定。

Q

いく。



みつし 三石
よしふみ 義文

市のシティプロモーションについて・市の防犯について・市の防災について



しみず ひでさぶろう
清水 秀三郎

Q 市として今後のシティプロ

モーションの取り組みと方向性について。また、どのような体制で進めていくのか問う。

A 地域住民の愛着度の形成に努

めつつ、20代～30代の若年層を対象に市の魅力をPRする取り組みを強化する。若い世代の市内への移住を増やして人口増につなげる狙いで、これに伴い担当課も新設する。

Q 佐久市にゆかりのある著名人

の皆さんにご協力頂き、市のPR等実施していくべきと考えるが、市の考えを問う。

A これまでに、人気漫画家「武

論尊」氏をはじめ、双子ユニット「アランヒルズ」、声優の「白井悠介」氏等にご協力を頂いてきた。今後も国内に止まらず世界を視野に入れたPRを行う。

Q 市内の刑法犯数及び防犯体制

の現況について問う。

A 市内の刑法犯認知件数は平成

29年515件。高齢者や子供たち

に対する防犯診断や防犯教室等、多岐にわたる活動をしている。様々な団体と連携を図り防犯意識の高揚と注意喚起をしていく。

Q 「子どもを守る安心の家」の

現況と取り組みについて

設置状況は779の個人宅と事業所。今後も関係機関と連携し防犯対策をしていく。

Q 防災マップについて。

5年に一度更新。民間の施設も新たに避難所に加えた。



「通学路における子どもを守る安心の家」の
掲示板

佐久平駅南土地区画整理事業・国民健康保険・太陽光発電施設設置問題



こばやし まつこ
小林 松子

Q 佐久平駅南区画整理事業につ

いては、公共施設等総合管理計画との整合性から、市の負担は最小限にするべきと考える。区画道路20の1号線を幹線道路に変更することは可能か。

A 区画道路であっても、市が整

備することは土地区画整理法で認められている。

Q 20の1号線の土地代金と工事

代金はそれぞれいくらか。

用地費は、現状で用地買収をした場合で1億1千万円余、工事費は概算で4億2千万円余を予定している。

Q 市が行っている収入の減少に伴う

国保税の減免について、実態は1件も申請もされていない。周知が不足していると考えますが、減免の内容は。

A 天災等による農作物の不作、

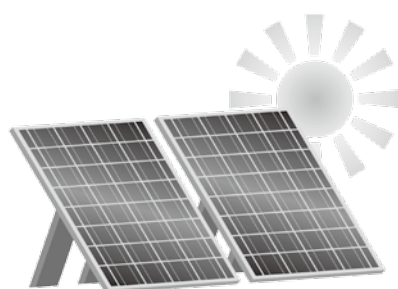
事業の廃止や失業等による所得や収入減の割合に応じて、減免できる内容となっている。引き

Q 続き周知に努めていく。

私は9月議会で、大谷地区の合の沢で計画されている太陽光発電施設設置の問題について取り上げた。大谷地区は、太陽光発電施設建設に関する要望書を市と議会に提出している。市は太陽光発電施設設置に係るガイドラインの策定を進めているということだが状況は。

A 良好な生活環境、自然環境等を

保全するため、市はガイドラインを策定し、合わせて事業者の責務を要綱で明らかにする。



市は早期のガイドライン策定に向け
進めている

まち・ひと・しごと創生総合戦略・都市計画マスタープラン改定について



関本 せいもと

Q 若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するための新たな取り組みについて。

A 「しごと」の創生では、産業支援機関の設置や農村グリーンツーリズムの推進、内山キャンプ場を中心に地域資源を生かした観光拠点の整備を実施する。

「ひと」の創生では、地域おこし協力隊の市内起業に向けた支援により地域の活性化を図る。また、佐久臼田インターチェンジ周辺に新たな工場団地を整備するほか、佐久市無料職業紹介所を設置し、就職相談及び職業紹介を行い、市内企業と求職者とのマッチングを図る。子ども福祉医療給付金の窓口無料化や生活困窮世帯の家計安定のため子ども学習支援を行う。

「まち」の創生では、健康増進に大きな効果が見込まれる運動・歩行の調査を市内健康関連産業と連携し実施するほか、川



内山オートキャンプ場

Q 西赤十字病院への補助金拡大により、安心して暮らせる保険・医療・福祉体制の充実を図る。

A 地域別構想のうち佐久平駅南地区の位置づけはどうか。

主要施策としては、高次都市機能の集積及び新たな市街地の形成、また、市街地整備に合わせた都市計画道路や都市計画広場の整備、さらに、良好な都市景観の形成のために、地区計画による規制・誘導、無電柱化を検討する施策を盛り込んだ、魅力あるまちづくりを推進する。

「情報公開のさらなる充実を」「国の通知の趣旨に沿った臨職の処遇を」



しおかわ ひろし
塩川 浩志

◆徹底した情報公開について

Q 高森町などが行った首長の予算査定の公開を行う考えは。

A 予算査定で扱う情報の中には多くの個人情報があり、個人や各種団体の利害関係への影響や不要な誤解を招くおそれがあることから、公開は適さないと考えている。

Q 市長会員の動画や質疑応答をホームページで公開する考えは。

A 市民への情報公開という観点から、県や国の実施状況を調べ、現在検討を進めている。

Q 住民説明会の配布資料を事前公開すれば、より充実した説明会になるのでは。

A 事前掲載は住民説明会での理解も深まり有効。掲載可能な資料については対応に努めたい。

◆臨時職員の6年雇止めと11か月雇用について

Q 総務省の通知では6か月雇い止めは避けるべき、11か月雇用

については法的根拠がないとしている。市の規定は通知の解釈を誤っているのでは。

A 県内他市の状況も確認しながらこれからもやっていきたい。

Q 学校の特別支援教育支援員や学校司書のように、特に専門性が求められる職種だけでも雇い止めをやめるべきではないか。

A 専門性について一概に言うのは難しいが、公平な就職機会の提供のため、職種を限定して雇い止めをやめるということは現段階では考えていない。



市長会員のホームページ画面

市民サービスの向上と出生記念の取組み・市立中央図書館の老朽化について



こばやし としはる
小林 歳春

◆市民サービス向上について

Q 婚姻届提出時のサービスの反応について。

A 提出者の8割から9割の方が利用し、嬉しいという感想の言葉をいただいている。

Q 出生記念時のお祝いサービスも行えないか。

A 記念に残るようなサービスに取り組む。

◆市立図書館の取組みは

Q 図書費増加について。

A 利用者のリクエストを参考に蔵書の整備を図っていく。

Q 郷土の漫画原作者武論尊氏コーナーの充実について。

A 同氏の作品を揃え活躍を紹介し充実に努め、多くの皆様に関心を持って利用して頂けるよう工夫する。

Q 市立中央図書館の老朽化についての取組みは。

A 図書館機能の検討や複合化なども視野に検討していく。

Q 市立中央図書館に屋根付き駐輪場の整備を行えないか。

A 必要性の検討を行い対応を考えていく。

◆学校での心肺蘇生法の教育について

Q 心肺蘇生法教育と突然死ゼロを目指しての取り組みについて。

A AEDの使用法も含めた心肺蘇生法の実技講習の実施や受講状況を把握し、万が一の際に、まずは教職員の誰もが応急対応出来るような必要な指導をしていく。



婚姻届提出時のお祝いサービスオリジナルパネル

老朽化が進む警鐘楼（火の見櫓）、関連設備更新には、市の積極的関与を！



おおい たけお
大井 岳夫

Q 軽積載車配備と警鐘楼の関連性について。

A 小型動力ポンプを統合し、軽積載車を配備したことにより警鐘楼を撤去するものではなく、地元区と消防団の協議が整い、要請があれば撤去していく。

Q 警鐘楼が建設された時期と耐用年数は。また、事故があった場合の責任の所在は。

A 昭和30年頃より建設が始まっており、耐用年数は45年である。警鐘楼は市で管理しており、事故が発生した場合の責任の所在については、その時々状況にもよるが、関係する保険にて市が対応する。

Q いつかは警鐘楼撤去の判断をしないでならないが、その際の負担は。また撤去により、新たにホース乾燥塔施設（ホスポール）を設置する必要性が生じるが、補助要綱は。さらに放送設備（スピーカー）付け替え

に伴う補助はあるのか。市は地区内調整にどう関わるのか。

A 警鐘楼の撤去については地元協議が整い、要請があった所から市で予算化を図り、撤去している。ホスポールの設置についての補助率は1/2以内で補助限度額は50万円。放送設備の付け替えに関する補助内容は8万円以上の事業費に対し、補助率1/4以内で補助限度額は250万円。これらの設置には地元負担も伴うので、市としても必要に応じて地区内の調整に関わっていきたい。



老朽化が進む警鐘楼（火の見櫓）

市職員の労働実態について・白田学園 の環境整備を・区要望の実現に力を



おさお 眞生
やなぎさわ 柳澤

Q 職員の超過勤務の実態は。
A 年間で平均126・7H。月平均で10・6Hだ。月80Hを超えた者は28年度58人、2カ月連続者は19人いた。担当業務の繁忙期に集中した。

Q 長期療養中（1月以上の休暇）の職員は今年度何人いるのか。

A メンタル疾患が10人、その他の疾患理由が8人となった。

Q 超勤労働の指示や時間管理はどのように行われているか。

A 課長が超勤命令簿で指示し、残業した者は自ら時間を記入し宿直者に提出。翌日課長が把握・押印して管理する方法だ。

Q 非正規職員の状況はどうか。
A 4月1日時点で男104人女71人で、男は全職員数の5%、女は36%にあたる。

Q 6年で雇止め方式は問題だ。スキルの流出になるのでは。

A マネリ化防止と公平な就職機会の提供が必要で現状通り。

Q

A

白田学園は県内唯一の自治体直営施設だ。環境整備の充実を。歩行困難者向けの特殊浴槽設置を計画した。十分な検討をし安全で使い易い設備としたい。明るい園経営の努力を続ける。

Q

市民生活に直結する区要望の実施率をより高め、安心安全の地域づくりに予算総枠を増額すべきではないか。

A

市内全域で要望の50～60%を消化している。区長、議員とも連携し住民の満足度をより高めるよう努力して行く。



Q

A

白田地区新小学校建設基本計画を教育委員会で決定した節目での教育長の所感は。

A 教育は地域百年の大計。児童が過ごす6年間において、特徴ある学びの体験や思い出作りに寄与し、充実した施設の中でここで学んだことに誇りを持てる学校づくりを目指す。という基本理念を今後どう具体化していくのか、わくわくしながら英知を結集していく。

Q

これまでに見えてきた課題のうち、通学方法について心配する保護者の声を多く聞くが、バス通学エリアについていつまでに決定するのか。

A

今年度の出来るだけ早い時期に教育委員会が素案を作って各学校の通学路検討部会に示していく。

Q

現在の建設予定敷地内に給食センターを建設することにより、学校建設用地が狭くなるのでは

白田地区新小学校建設について



こうじ 浩司
い で 井出

ないかと心配される声があるがいかがか。

A

ワークショップからの提言にも給食センターを学校内に併設してほしいという意見を頂いている。今後の協議会へ、給食センターを含む校舎等のレイアウト案を示していきたい。それに基づいて敷地が狭いのか皆さんに検討して頂きたい。

◆その他の質問

・高齢者支援に関する活動への地域住民の参加について



コスモタワーが見える建設予定地

春日高橋区の児童のバス通学を認める 望月ヨーグルト工場の事業展開に期待



たけはな みゆき
竹花 美幸

Q 春日では二年が経たないうちに、同じ通学路で飲酒運転による児童の死亡事故が起きてしまった。本当に無念でならない。

短い期間に事故が多発した通学路は、危険箇所としてお認めいただき、子どもの「命」を守るため、バス通学の措置を検討するべき。四月以降の対応も含めお聞きする。

A 重大な事故が相次いで発生している事実を重く受け止め、登下校の安全対策としてスクールバス通学を検討した。新年度以降も、県道と市道66―004号線との交差点から南側を利用している児童について、スクールバスによる通学を認める。

Q 望月地区ヨーグルト工場の整備計画についてお聞きする。

建設場所は、現在の工場より2 kmほど国道に近い場所。述べ床面積440㎡。(株)グリーンフィールドが施設を管理運営する。

Q 畜産クラスター事業によりどのような効果が期待できるか。

ヨーグルト工場の従業員を11名に増員する予定。雇用の拡大と生乳の利用拡大による畜産農家の収益向上が挙げられる。

Q プルーンや地域の特産物を新商品の開発等に結びつける事が、酪農家の意欲や地域全体の潤いに繋がる。今後の支援は。

プルーンをはじめとしたフルーツヨーグルトの製造を検討している。新商品の開発やPRなどを積極的に支援していく。

A



地元の搾りたて生乳を使った「望月高原ヨーグルト」

佐久市の松くい虫被害の対策について 佐久市内の県道の道路改良整備について



おおつか ゆういち
大塚 雄一

Q 松くい虫の被害が広がっている。長野県は民有林が二年連続で全国最多と発表されているが、佐久市の松くい虫の被害状況を伺いたい。

佐久市の松くい虫の被害は、現在市内全域に広がっていて市では全域で防除対策を実施している。

Q 全市に広がった松くい虫の被害対策の今後の対策方法について伺いたい。

県からの森林税等を利用し、被害木を伐採して薬剤処理し、シートで包みくん蒸処理による駆除処理を実施していく。ヘリコプターによる空中薬剤散布は考えていない。今後も地道な作業で市内の松くい虫被害を防いでいく。

Q 布施抜井地区の県道が急に狭くなり、地元住民から道路拡幅の区要望がある。市内他の県道でもこの様な区要望がある事と

Q 思う。区要望の県道の道路改良整備工事の優先順位を決める基準を伺いたい。

A 市内県道の道路改良工事区要望箇所が多くある。県では管内全体の事業の中で、緊急度重要度を考慮し、予算範囲内で実施していくとのこと。市としても、地域と連帯し、県及び佐久建設事務所に要望をあげ、各地域の不安解消に努めていきたい。



ビニールで包んで薬剤によりくん蒸した駆除方法

廃校の利用について 中山道ウォークについて

旧春日小学校の現状は。

平成20年に廃校となった。現在校舎は、主に庁内各部署の倉庫として利用している。屋内運動場は、春日地区社会体育館として、グラウンドは地域の皆様の交流の場となっている。

利用募集及び貸付条件は。

現在は文部科学省の「未来につながる、みんなの廃校プロジェクト」の中で募集をしている。問い合わせはあるが最終的な申し込みには至っていない。貸付条件は、地域の理解が得られること、地域の活性化、雇用の創出に寄与すること、維持管理費は利用者負担とすることの3点。

貸付けの課題は。

建物や設備の老朽化が進み、将来活用するにあたり改修費用面で利用希望者の計画と合致するかが課題だ。

中山道連絡協議会との連携は。



たかやなぎ ひろゆき
高柳 博行

A

中山道は貴重な観光資源と捉えている。協議会のイベントへの参加促進、中山道を散策する人々の増加に繋がる情報発信等、協議会と連携しながら進めていく。

外国人に向けたピーアールは。

市のホームページで中山道の紹介を外国語で行っている。また観光協会と連携して宿場の紹介に英語表記をし、外国人に中山道の魅力を発信している。

A Q



塩名田宿（歌川広重画）

飲酒運転撲滅・通学路の安全対策 種子の問題は地域の課題

◆飲酒運転撲滅に向けて

佐久市における飲酒運転事故の状況は。

29年中の人身事故は2件、負傷者2名、前年より4件11名減。

全国統計によると飲酒運転は死亡事故に至る確率が5〜7倍になる。最近痛ましい事故が見受けられる県道151号線は朝や昼間の飲酒運転での事故。酒類の販売方法も検討するべきでは。

酒類を提供する施設への周知の他、取り締まり強化の要請、広報などでの啓発など、飲酒運転撲滅に向けて強く訴えたい。

◆通学路危険箇所の把握と周知

危険箇所の把握には子どもの目線でないといけない場所もある。周知は地域全体にするべきでは。

危険箇所の把握は毎年PTAと教員を中心に行っている。子どもの目線は重要であり、自ら危険箇所をあげるのは交通安全

◆種子法廃止の影響について

教育そのもの。具体策を講じた。周知はマップ化したものを全戸配布する予定の学校もある。

A

種子法が廃止になり、種の安全、安定性、高額化、海外資本算入などが懸念される。自給率80%の野菜も種においては8%だというデータもあり、食の安全保障という面では地域の問題でもある。影響をどう考えるか。

A

長野県では今後も高品質な種子の安定供給に取り組むとしているので、影響はないと考える。



よしかわ ともこ
吉川 友子

	事故件数	飲酒事故件数
佐久市全体	2223	117
県道湯沢望月線	10	3

H25～30の事故件数及び
飲酒事故件数

市歌の推奨について・暮らしを守る まちづくり・救急診療体制について

◆市歌について

Q 小中学校で市歌は歌われているか。

A 2か月間音楽の時間に10分程度練習している。

Q 今後の方針は。

A 市内の小中学生が市歌に親しむことが望ましい。各校で創意工夫して可能な限り進めるよう呼び掛けていく。

◆防犯カメラについて

Q 防犯カメラの設置は犯罪抑止になり、安全安心のまちづくりになるが、市の施設にも設置が望ましい、また道路上にも必要と考えるが市の考え方は。

A プライバシーの配慮、画像データの取扱い、設置費用から課題がある。今後の社会情勢の変化や動向を注視し慎重に対応したい。

◆急病診療体制の整備と充実について

Q 佐久地域休日小児科急病診療センターと佐久地域平日夜間急



つちや としげ 俊重

病診療センターの診療時間以外の急病診療体制と今後の整備と充実について。

A 日曜と祝日は医師会に委託して内科医師のいる医療機関と内科以外の医療機関が休日当番として持ち回りで診療している。土曜日の午後と深夜は浅間病院などで受診できる。今後は必要に応じて見直しをする。また、市と医療関係者との連携会議で急病診療体制のあり方について協議をしていく。



議会だより表紙写真大募集中!!

佐久市内で撮影した行事や風景など議会だよりの表紙としてふさわしい写真を募集中です。

年間を通して随時応募を受け付けていますが、各号ごとの審査対象は次の期日までに応募があった写真としています。

- ・ 5月1日発行号 ▶▶ 3月31日までの受付
- ・ 8月1日発行号 ▶▶ 6月30日までの受付
- ・ 11月1日発行号 ▶▶ 9月30日までの受付
- ・ 2月1日発行号 ▶▶ 12月27日までの受付



詳細は、佐久市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

報 告 視 察 政 行

長野県飯田市 「公共交通の現状について」 三重県松阪市 「地域公共交通形成計画について」

総合交通対策特別委員会

◆飯田市：飯田市では、民間バス会社が路線バス事業から撤退したことを機に、「公共交通改善市民会議」を立ち上げ、公共交通の活性化及び再生に関する場を設立し、地域住民・公共交通事業者・道路管理者・学識経験者・飯田市リニア推進部長・関係町村担当課長で構成しています。

会議では、より便利に利用するためのバス停の場所や時刻表等について、地域利用者の意見を代表者が提案し、運営方法を決めるといった、利用する住民による住民のための公共交通運営の状況を視察しました。

◆松阪市：松阪市も飯田市同様、地域住民の意見を多く取り入れる中、関係機関のアドバイスを受け、地域の事情にあった運行経路、時刻等について公共交通検討委員会で検討し

導入しています。

また、市民の皆さんに公共交通への関心を持ってもらう事と市の公共交通への負担を軽減するため、全てのバス運営に対し、事業所、商店、個人が協賛金という形で、協力しています。事業所・商店に関しては、協力金の額により一年契約で、車体や車内広告、バス停の広告等を行い、個人分は各区を通じて、一戸一千万を協賛していました。

両市とも、利用する市民と共に成長して行く公共交通でした。



松阪市視察の様子

神奈川県秦野市 「公共施設配置計画について」 静岡県焼津市 「公共施設マネジメントについて」

公共施設マネジメント特別委員会

◆秦野市：「公共施設配置計画について」

平成20年4月、公共施設の更新問題に対応するため、専任組織である、公共施設再配置計画担当を設置し、公共施設の再配置に着手し、公共施設更新問題に取り組んでいます。

公共施設の更新問題とは、近い将来、公共施設を一斉に更新する時期がやってきます。これに合わせるように高齢化と人口減少が進んで財政状況が悪化し、現状のままでは、必要性の高い公共施設まで良好な状態が保てなくなる恐れがあります。これが公共施設の更新問題です。

◆焼津市：「公共施設マネジメントについて」

公共施設マネジメントとは、土地、建物、設置やそれらを取り巻く内外の環境であるファシリティ(物)を経営資源

と捉え、経営的視点に基づき、コストの最小化や施設効果の最大化を図るための、総合的、長期的視点からファシリティを戦略的かつ適正に管理、活用していくという経営管理手法の事であり、施設を減らす事が目的ではありません。

将来の自治体経営に向けて、全市民、全議員、全職員が一致団結して取り組むべきものです。

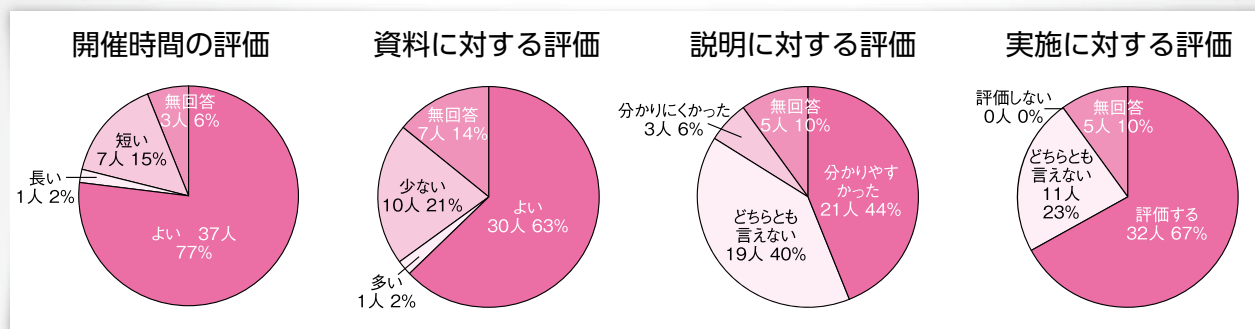


秦野市での公共施設再配置計画について

平成29年度 議会報告・意見交換会「議会と語ろう会」を開催しました。

平成29年11月6日から11日にかけて、市内5会場で開催されました。今年度の特徴としては、休日昼間の開催、手話通訳・要約筆記の配置、託児の設置をおこないました。参加者は、佐久地区30名（浅間地区17名、野沢地区13名）、臼田地区10名、浅科地区17名、望月地区15名の合計72名（前年比マイナス25名）でした。

なお、アンケート結果は次のとおりです。



また、当日行ったアンケートでは、「内容が、市民にとって関心のある話題ではなかった」、「説明をレジュメにそって話してもらいたかった」、「市役所を指導する議会になって欲しい」等の厳しいご意見をいただく一方、「86才の私にとって、この会を昼間に開いていただき、いろいろな考えを聞かせていただき良い勉強になりました」、「要約筆記、手話通訳はとてもよい。今後も継続してほしい。ワークショップ形式もよい」と評価していただきました。

今後の課題として、出席人数が年々減少していることから、魅力ある議会報告会となるよう研究していくとともに、議会自らが足を運び、各種団体と意見交換する等の必要があると考えております。



野沢会館での様子



手話通訳・要約筆記の配置をした浅間会館での様子

ご参加いただいた市民の皆さんからの主なご意見など

子育て支援の中で高校生にスポットを当ててほしい。中学校までは、市も議会も力をいれているが、高校生に対しての支援がされていない。高校生でも、大事な佐久市の子どもである。

ソーラー施設の急拡大が心配だ。景観、自然災害、中山間地の集落の崩壊・過疎化に拍車。規制していく条例が必要だ。

働いている人や子育て中の人、夜の「議会と語ろう会」には出られない。議員が直接出向いて、声を聴くという工夫も必要ではないか。

国保について、田舎の人は土地などの資産を持っている（あまりお金にならない）資産割りの部分を考慮してもらいたい。



公共交通を試験的にしているとのことだが、今後改正するにあたっては、市民の声をもっとよく聞いて反映させるべきである。議会はそのことを強く行政にいていくべきだ。

※この他にも、多くのご意見をいただき、ありがとうございました。詳細は、佐久市議会のホームページに掲載されていますので、ご覧ください。また、3月9日に市内高校生と総務文教委員が意見交換をしました。内容については、後日、掲載予定です。

佐久市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例が可決されました!!

政務活動費とは、議員の調査研究、その他の活動に役立てるために必要な経費の一部として交付するもので、佐久市議会では議員一人当たり年額 12 万円を会派（会派に所属していない場合は議員）に交付していましたが、佐久市特別職報酬審議会からの答申に基づき、議員一人当たり年額 18 万円に条例改正されました。

聴覚障害のある方も議会を傍聴できます



佐久市議会では、聴覚に障害がある方が会議の傍聴を希望される場合、議会在窓口となり、本会議や委員会の開会時に手話通訳や要約筆記を配置します。

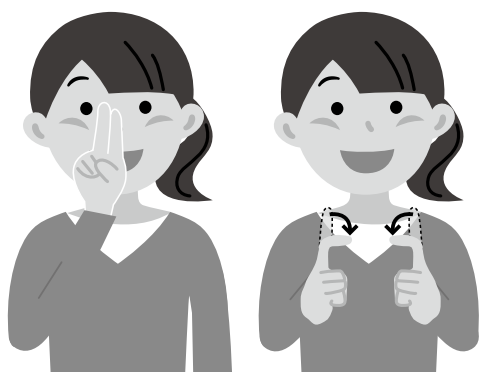
なお、傍聴を希望する際は、傍聴希望日の 7 日前までに申し込みが必要となります。（手話通訳の派遣状況によって、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。）

また、一般質問等傍聴したい内容や傍聴したい議員の質問日がわからない場合については、あらかじめご相談ください。

利用や予約の内容に関するお問い合わせは、議会事務局 議事調査係までご連絡ください。

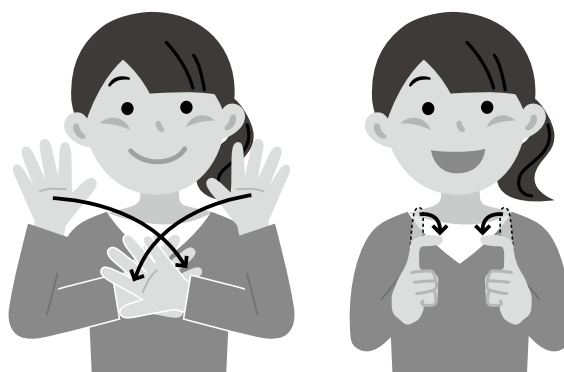
手話を学ぼう ～あいさつをしてみましょう～

こんにちは



「昼」という手話と「挨拶」という手話をあわせませす。

こんばんは



「夜」という手話と「挨拶」という手話をあわせませす。

お詫びと訂正

議会だより第 51 号（平成 30 年 2 月 1 日）の一部に誤りがありました。

P4 平成 29 年 12 月定例会議案審議結果 表 議案番号

誤 116 → 正 117 、 誤 117 → 正 119

誤 119 → 正 121 、 誤 121 → 正 116

お詫びして訂正します。

2018 3月9日 議場コンサートを開催しました。

今年の議場コンサートは、マリンバ奏者 横山晴子さん、フルート奏者 矢野郁子さんをお招きして行われました。今年は、「ふるさと」をテーマに、「少年時代」や「演歌メドレー」といった馴染みの深い曲や議員有志も手話でコンサートに参加し、コンサートを盛り上げました。これを機に、本会議の傍聴や議会報告会の参加に繋がっていただければ幸いです。



あなたも議会を傍聴してみませんか

★次の定例会（平成30年6月定例会）の日程（予定）は右欄のとおりです。

★委員会審査も傍聴いただけます。

本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。

ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください

本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の様様を撮影、録音することはできません。

問い合わせ先 佐久市議会事務局
電話 0267-62-3495（直通）

次回定例会のお知らせ 【平成30年6月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
5月27日	28	29	30	31	6月1日	2
3	4 本会議 (開会)	5	6	7	8	9
10	11	12	13 本会議 (一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16
17	18	19 本会議 (議案質疑)	20	21 委員会	22 委員会	23
24	25 委員会	26	27	28 本会議 (閉会)	29	30

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

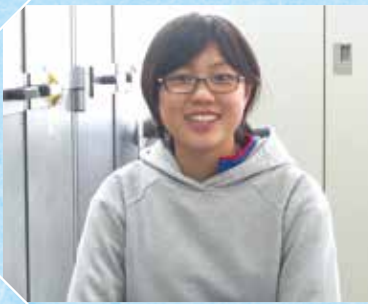
編集後記

佐久市民の日（3月9日）に開催された市議会主催の「マリンバ・フルートのジョイントコンサート」。来場者の受付、誘導ご案内まで議員の面々が笑顔いっぱいにお迎えしました。何人かの知り合いも見えましたが、自分がお誘いできていなかった事に気が付きました。この日まで「マリンバってどんな楽器？」でいたからです。議場内満員の聴衆を前に、お二人の女性奏者によるトークと見事な演奏が披露されました。初めてお目にかかったマリンバ。グランドピアノ並みの横幅の木琴で（下部に金属の共鳴パイプ）、同時に4本ものバチ（マレット）を持って流調に叩いて演奏する姿にびっくり。フルートの響きともマッチできるその奥深い音色に感激！社会委員による手話を取り入れた「ふるさと」合唱も、会場の心が一つになりました。「市民により親しまれる議会を」の思いを改めて抱いた楽しいひと時でした。

（柳澤眞生）

聞かせてあなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります



くろさわ
黒沢 ほのかさん
(切原小学校6年生)

私の将来の夢は小児科医になることです。弟の通院がきっかけで、小さな子どもが苦しんでいる姿を見て、「かわいそう。何とか助けてあげたい」そして、「苦しむ子どもの親の心配を軽くしたい」という自分の経験から強く思い始めました。

夢に向かって頑張っていることは算数や理科、人の体について勉強をしています。勉強することが辛くなっても、将来の夢に繋がると信じ「がんばれる!」と思っています。

私は外で遊ぶことが大好きですが、小さな子ども達と遊ぶときは周囲の安全確認もします。学校以外に塾やピアノ、英語やバスケットボールも頑張り、自分を支えてくれる両親にも感謝をし、地域の皆さんにも恩返しをしたいと思っています。

今年度は児童会長を頑張ります。

佐久っ子の夢、応援します!

議会の主な活動

このコーナーでは、議会が本会議以外でおこなっている主な活動を、写真で報告していきます。

東信5市との合同議員研修会開催

1月23日



東信5市議会議員研修会を佐久市内で開催しました。今回は、西日本新聞報道センター部次長、九州大学非常勤講師の前田隆夫氏から「いま、地方議会に求められること」と題してご講演いただきました。

災害時要配慮者に関する協定調印式

2月16日



佐久市は、学校法人佐久学園と「福祉避難所等及び人的支援に関する協定」を、また、一般社団法人日本福祉用具供給協会と「災害時における福祉用具等物資の供給協力に関する協定」を締結し、調印式に正副議長が出席しました。

高校生との意見交換会開催

3月9日



佐久平交流センターにおいて、佐久市内の高校生11名と総務文教委員会委員9名と意見交換しました。テーマは、「街づくりについて」、「選挙権について」、「議会だよりについて」で、活発に意見を交わしました。高校生からの意見については、今後、委員会では対応方針を決めていきます。

公共施設マネジメント特別委員会開催

3月12日



公共施設マネジメント特別委員会に、武蔵野大学経済学部経営学科教授の鷹野宏行氏をお招きし、「自治体公共施設の更新に際して減価償却をどう考えたらいいのか」について、意見をお聞きました。

